世帯数配布

令和３年度　名古屋市立戸笠小学校　学校だより第１１号

はぎの子

令和３年１１月１日(月)

秋も一段と深まってまいりました。子どもたちは「はぎの子発表会」に向け、精一杯練習や準備に取り組んでいます。当日は、子どもたちの頑張る姿をお楽しみください。

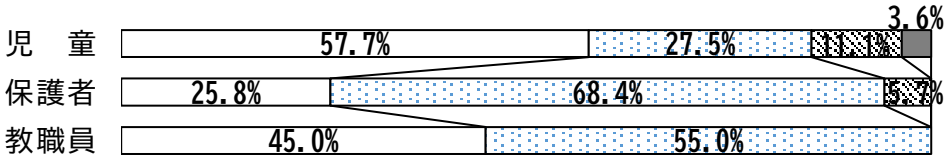
さて、学校評価のアンケートの結果を、お知らせいたします。今後も、学校と家庭が、協力と連携を大切にして臨んでいきたいと思います。

学校教育に関する評価において、より今後への見直しを充実させるために、児童・保護者・教職員の３者に共通する項目の結果を比較し、改善策を含めた今後の方向性について教職員で検討しました。結果は以下のようになります。【 □ A:よく当てはまる(４点)、▨ B:やや当てはまる(３点)、▧ C:やや当てはまらない(２点)、■ D:まったく当てはまらない(１点)として評価の平均を割り出しています。】

① 『学校教育目標』　【保護者回答数 209】

学校は、「仲良く助け合う子」「強くたくましくやり抜く子」「進んで考え判断する子」の育成をめざした取り組みをしている。

評　価	平均
児　童	3.4
保護者	3.2
教職員	3.5

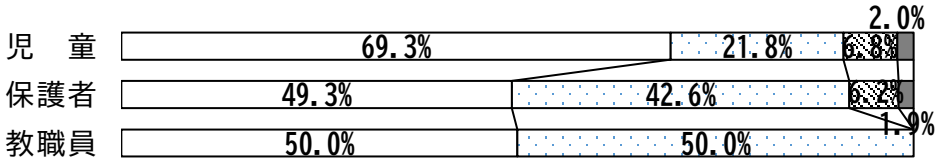


『学校教育目標』について、児童・保護者・教職員ともに９割以上が「よく当てはまる」「やや当てはまる」と回答しています。また、よく当てはまるに該当している児童の数が多いことからも、学校教育目標に沿った教育活動を行うことができていると考えます。今後も「仲良く助け合う子」「強くたくましくやり抜く子」「進んで考え判断する子」の育成をめざして取り組んでいきます。

② 『学校が楽しい』

子どもたちは学校生活が楽しいと言っている。

評　価	平均
児　童	3.6
保護者	3.4
教職員	3.5

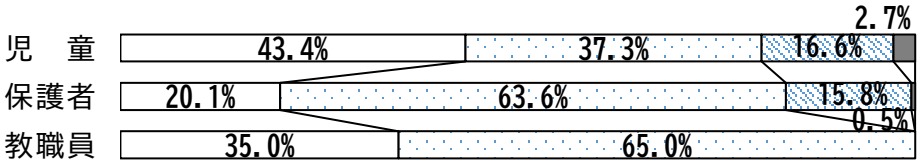


『学校が楽しい』について、児童・保護者・教職員ともに９割以上が「よく当てはまる」「やや当てはまる」と回答しています。特に児童については、７割近くがとても楽しいと感じており、多くの児童が学校生活に満足していることがうかがえます。一方、１割近くの児童が「そうではない」と回答しています。仲のよい友だちがいない、勉強が難しいなどということが理由として考えられます。様々な制約が多い中ではありますが、そのような子たちも楽しいと感じることができるよう工夫をし、笑顔で登校できる学校をめざしていきます。

③　『学校努力点』

お子さんは、４月のときと比べ、他者の意見も参考にしながら、自分の考えをもつことができている。

評　価	平均
児　童	3.2
保護者	3.0
教職員	3.4

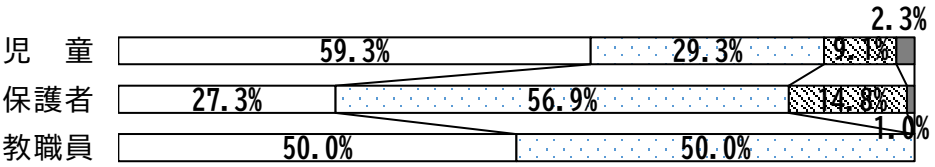


『学校努力点』について、他の項目と比べると児童・保護者の評価が低くなっています。３年目の今年度は、対話により考えを広げたり深めたりすることをめざしています。児童については、自分の考えを伝えることにまだ自信をもつことができていない児童や、人の意見をもとに考えを練り直すことなどが難しいと感じている児童もいると考えています。そのような児童についても取り組みやすいような手立てを行っていきたいと思います。また、保護者の方については、学校での取り組みの様子や身に付いた力が分かるように工夫をしていく必要があると考えます。今年度は、努力点で実践したことを随時学年だよりで報告しています。他学年の取り組みもぜひご覧ください。

④　『挨拶』

子どもたちは、挨拶がきちんとできている。

評　価	平均
児　童	3.5
保護者	3.1
教職員	3.5

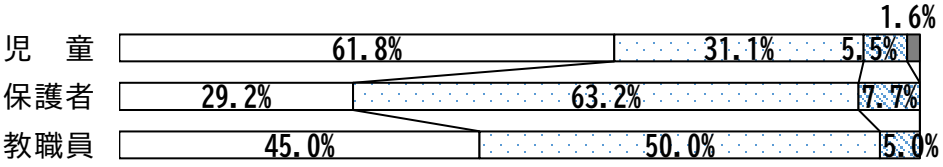


『挨拶』について、児童や教職員と比べ、保護者の方の評価が高くありません。学校内での挨拶については、よく行っているのに対し、学校以外の場面では未だに進んでできていないことがうかがえます。しなければいけないからするのではなく、自然と挨拶ができる児童が育つように、取り組んでいきたいと考えます。ご家庭でも挨拶の大切さについて、お話いただけるとありがたいです。

⑤　『分かる授業』

学校は、授業で子どもに基礎学力が身に付くよう工夫し指導している。

評　価	平均
児　童	3.5
保護者	3.2
教職員	3.4

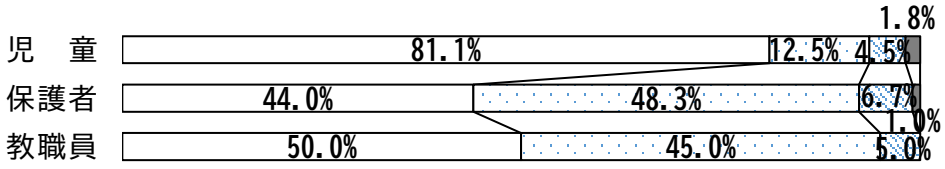


『分かる授業』については、どの立場においても9割以上ができていると答えていることから、学習が定着していることがうかがえます。しかし、よく分からないと感じている児童も一定数いることから、それらの児童に対する支援もしっかりと行っていきたいと思います。今後も、どの児童にとって分かりやすい授業をめざすとともに、個に応じた指導にも力を入れていきたいと考えます。

⑥　『ICT の活用』

お子さんは、ICT を活用した学習への意欲が高まっている。

評　価	平均
児　童	3.7
保護者	3.4
教職員	3.7

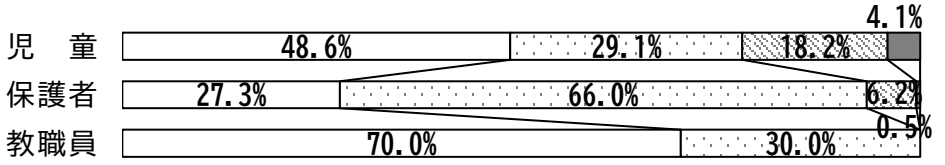


『ICT の活用』については、児童の評価がとても高く表れていることから、児童の ICT を活用した授業への期待の高さがうかがえます。タブレットの持ち帰りも始めましたが、様々な場面で効果的に活用していくことができるよう、積極的に活用していきたいと考えています。また、いじめ、犯罪等につながらない情報モラルについての指導もしっかりと行っていきたいと考えています。

⑦　『いじめ・問題行動等の対応』

学校は、いじめや問題行動等、子どもの間違った行動について、適切に指導している。

評　価	平均
児　童	3.2
保護者	3.2
教職員	3.7



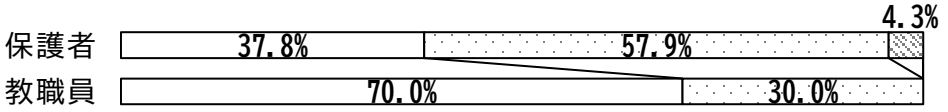
※　児童は、いじめや暴力などをしたり、悪口を言ったりすることがあるかについて（A：ない、B：あまりない、C：ときどきある、D：よくある）で意識調査をしています。

『いじめ・問題行動への対応』について、保護者・教職員の割合を見ると、いじめや問題行動等に対する対応は、しっかりできていると考えますが、児童の意識調査から分かるように、いじめや暴力・悪口といった行動をしたことがある児童が一定数います。そのため、事後指導だけでなく、未然防止につながるような指導を意識し、いじめが起きないように、今後も取り組んでいきます。

⑧　『相談や対応』

学校は、保護者からの連絡に対して丁寧に応対し、困ったときや悩んでいるときなどには、相談にのっている。

評　価	平均
保護者	3.3
教職員	3.7

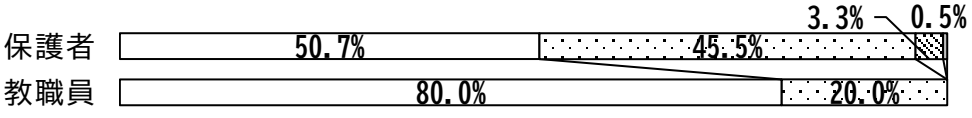


『相談や対応』について、今後もより保護者の方に安心していただけるよう、今後も対応していきたいと思います。

⑨　『家庭との連絡や情報提供』

学校は、学校だよりや学年だより、ホームページ、連絡帳等で、家庭との連絡や情報提供を適切に行っている。

評　価	平均
保護者	3.5
教職員	3.8

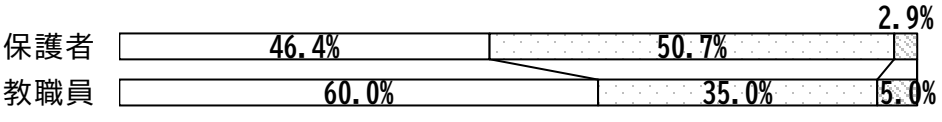


『家庭との連絡や情報提供』について、ご意見にもありましたが、学校での児童の様子をたより等で積極的にお伝えしていくことで、より保護者の方と連携を取りながら、児童の成長を見守っていくことができるようにしていきたいと思います。

⑩　『環境整備』

学校は、生活環境（教室、遊具、運動施設等）の整備、防災や不審者への対応等、子どもの安全を確保するようにしている。

評　価	平均
保護者	3.4
教職員	3.6



『環境整備』について、今後も児童の安全・安心を意識した整備や、防災・犯罪対策等に取り組んでいきたいと思います。また、警報発令時のみならず、急な豪雨や雷発生時にも適切な判断や対応ができるよう、努めていきます。

いただいたご意見について

保護者の方から、様々なご意見をいただきました。ご意見について以下のように考えていますので、お答えさせていただきます。

【不審者の対応について】

不審者の対応については、毎年１回、防犯教室を実施しています。今年度については、各学年の発達段階に応じて、ビデオをもとに講義形式で行いました。また、不審者が多い時期や不審者情報があった際などに、各学級で防犯に関する話をするようにしています。今後も児童や教職員の防犯意識を高められるよう、取り組んでいきたいと思います。

【個人懇談会について】

今年度は、例年実施をしている 12 月よりも時期を早めることでその後の指導に生かすこと、教育相談後に実施をすることで児童の様子を共有しやすくすることを目的に日程を変更しました。なお、夏休み明けの児童の様子を把握するため、教育相談は９月に実施することとしました。今年度の反省やいただいたご意見をもとに、個人懇談会がよりよいものとなるよう、来年度の日程について検討をしていきます。

【アンケートの記名について】

昨年度、保護者の方の回答の中に直接お答えする必要があるものもありましたが、名前がないため、できませんでした。そのため、今年度は、直接お答えする必要があるものについて、返答をするために記名式とさせていただきました。ご了承ください。

【新型コロナウイルス感染症への対応について】

今年度も名古屋市の方針に基づきながら、新型コロナウイルス感染症への対策を行い、教育活動を進めています。現在のところ、保護者の方のご理解・ご協力もあり、児童が検査の結果陽性となり、対応が必要となる事態にはなっていません。また、９月の授業時間が減りましたが、今年度中に各学年の学習内容が終わるよう、工夫をして進めています。今後も様々なご協力をいただくことになるかと思いますが、ご理解のほど、よろしくお願いします。

今回の結果を基に、子どもたちが安心でき、充実した学校生活を送ることができるよう、教職員一同、より邁進していきたいと思います。また、今後も学校と家庭が協力して、子どもたちの成長を支援していきたいと思います。今後ともご理解・ご協力をよろしくお願いします。